「新しい東北」の創造に向けた 課題と対応方針

平成29年6月2日

復興庁

Reconstruction Agency

新たなステージ 復興・創生へ

「新しい東北」の創造に向けた取組（概要）

「新しい東北」の基本的な考え方

- 被災地は、**日本全国の地域社会が抱える課題（人口減少、高齢化、産業の空洞化等）が顕著。**
- インフラや住宅等（ハード）の復旧が進みつつある中、「まちの賑わい」や「地域の活力」を取り戻すためには、「**人々の活動（ソフト）**」の**復興が必要**。具体的には、「**産業・なりわいの再生**」と「**コミュニティの形成・地域づくり**」に取り組むことが必要。
- 国・自治体のみならず、企業・大学・NPOなど、**民間の人材やノウハウを最大限に活用しながら**、全国のモデルともなり得る挑戦的な取組を推進してきたところ。今後は、被災地での普及・展開を図る。

被災地における 先導的な取組の支援

先導モデル事業 【平成25年度～平成27年度】

民間主体の
先導的な取組創出を支援

※合計216の取組を支援
※平成28年度からは、取組の
「普及・展開」に移行

先導的な取組の普及・展開

多様な主体による連携・協働の促進

「新しい東北」官民連携推進協議会

【平成25年12月～】

官民の多様な主体による情報共有・交流の場

会員：企業・NPO・大学・行政等の1,287団体

【平成29年5月時点】

代 表：経団連会長、経済同友会代表幹事、日商会頭

副代表：岩手県・宮城県・福島県、

3県の連携復興センター・大学、金融機関等

事務局：復興庁

地域づくり
ネットワーク

企業連携グループ

販路開拓支援チーム

復興金融ネットワーク

情報発信

情報発信の強化

【平成27年度～】

民間のノウハウを活用した情報
発信を実施（平成28年度）

地域の担い手の情報発信力の強
化、パートナーづくりを促進（
平成29年度）

「新しい東北」 復興・創生顕彰

【平成28年度～】

地域の担い手の取組を顕彰

これまでの取組と課題

- これまで、「新しい東北」先導モデル事業等により企業、大学、NPO、自治体等の取組を支援。
- あわせて、そうした取組を普及・展開するため、
 - ・交流会等を通じた民間団体による連携・協働の促進
 - ・積極的な情報発信を通じたノウハウの共有 を実施。

(1) 被災地における先導的な取組の支援

「新しい東北」先導モデル事業	累計216の事業を支援(平成25～27年度)
----------------	------------------------

(2) 多様な主体による連携・協働の促進

「新しい東北」交流会	東北各地で10回開催(平成26年度～)
自治体版ハンズオン支援事業	累計19自治体を支援(平成27～28年度)
専門家派遣集中支援事業	累計66事業を支援(平成27年度～)
「新しい東北」復興ビジネスコンテスト	累計46の団体・個人を表彰(平成26年度～)

(3) 情報発信

「新しい東北」情報発信事業	計11の団体と共同で情報発信(平成27～28年度)
「新しい東北」復興・創生顕彰	10の団体・個人を顕彰(平成28年度～) ※平成28年度はあわせて復興功績顕彰を実施

一方で、復興に関係する団体等からは、担い手、コーディネーター人材の不足や、持続的な資金調達モデルを確立できていない等、取組の持続性に関する課題も指摘されているところ。

これまでの取組で得られたノウハウをさらに被災地内外で普及・展開するためには、あわせて取組の自立化・自走化を進めていく必要がある。

「新しい東北」の創造に向けた今後の対応方針

＜担い手、ネットワークの強化＞

- 被災地におけるノウハウを普及・展開するとともに、取組の自立化を進めるため、
 - ・地域で活動を実践する「担い手」のスキル向上、マインド強化
 - ・地域内における連携体制、ネットワークの構築
 - ・地域外の関係者とのネットワークの構築に向けた施策を実施。
- あわせて、「新しい東北」交流会等を通じて、情報発信の強化、関係者間の連携強化を図る。

●自治体、NPO等に対するきめ細かな支援（ハンズオン支援）の実施

【地域づくりハンズオン支援事業】

- ✓自治体、NPO等が連携して行う地域課題解決に向けた取組に対し、伴走型支援を実施（平成29年度は8団体を支援）。また、担い手間のネットワーク強化のための交流会を開催。

●オープンイノベーション手法による情報発信・ネットワーク強化

【共創イベントを通じた情報発信ソリューション構築事業】

- ✓共創イベント（アイデアソン等）の開催を通じ、地域の担い手の情報発信力の強化、新たなパートナーづくりを促進（全国各地で10回程度開催）。

●「新しい東北」交流会等の開催

- ✓復興庁主催の「「新しい東北」交流会」や、各県関係機関と共同で企画・運営する「連携型交流会」を開催。また、民間団体主催の交流会等の取組も促進。
- ✓平成29年度は「復興フォーラムin大阪」を開催。風化防止・風評払拭の観点も踏まえ、復興や防災の分野で進む民間の取組や、被災地の復興の現状や魅力を発信。

「新しい東北」の平成29年度活動計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
官民連携推進協議会			<6月11日(日)、12日(月)> ●「復興フォーラムin大阪」 (大阪市)		-各地域の関係機関との「連携型交流会」を開催						●「新しい東北」交流会(仙台市)	●顕彰式
	●情報発信事業(共創イベントを通じた情報発信ソリューション構築事業)											
地域づくりネットワーク	●地域づくりハンズオン支援事業											
分科会	企業連携グループ			-販路開拓支援チーム交流会を開催								
	●「被災地域企業新事業ハンズオン支援事業」、「専門家派遣集中支援事業」、「結の場」											
復興金融ネットワーク	●復興ビジネスコンテスト提案募集					●復興ビジネスコンテスト表彰						
	-復興金融ネットワーク交流会を開催											

東北縁日2017

6月11日(日) 11:00~19:00

大阪ステーションシティ(JR大阪駅)5F
「時空(とき)の広場」

食 東北マルシェ

「東北縁日2017」をテーマに、復興に向けて取り組む“東北の今”を食べて・観て、そして楽しんでいってください。

●よしもと47シュフラン

全国各地の主婦が選んだご当地商品を、一般投票やよしもと芸人、有名バイヤーなどにより金賞認定する地域活性化プロジェクト。若手・宮城・福島の特産品を出品!

●日本橋ふくしま館 MIDETTE(福島県)

福島県のアンテナショップから、全国新酒鑑評会で金賞受賞数が5年連続日本一の日本酒から人気のお菓子、郷土料理まで幅広くご紹介。また、福島県産米の量り売りも行います。

●株式会社阿部農縁(福島県須賀川市)

お客様との縁を大事にしている「阿部農縁」から心をこめて作った「手作り味噌」や「桃のコンポート」など自慢の味をお届けします。

●道の駅たまかわ こぶしの里(福島県玉川村)

あまりにおいしくて、猿がすぐに食べてしまうという「さるなしの実」を使った「さるなしドリンク」や、玉川村名物の「空芯菜」など他では食べられない味が登場。

観 ステージ企画

よしもと芸人もやってくる!

よしもとのゆりやんレトリィバァ、ビスケットィ、ヒッキー北風によるトークショーや、東北の郷土芸能の披露などを行います。東北の魅力を実感してください!!

【登壇者】

- ・ゆりやんレトリィバァ(よしもと芸人)
- ・ビスケットィ(よしもと芸人)
- ・ヒッキー北風(よしもと芸人)
- ・はら きょうこ氏(絵本作家)
- ・高柴ひよつこ踊り(福島県郡山市)

and more...

12:00~12:30	高柴ひよつこ踊り
12:30~12:50	よしもとトークショー①
13:10~13:55	絵本でつなぐ福島との絆(朗読あり)
14:00~14:30	高柴ひよつこ踊り
15:00~15:20	よしもとトークショー②
16:30~16:50	よしもとトークショー③
17:00~17:20	よしもとトークショー④
17:30~17:50	ボランティアキャンペーンポスター紹介

ゆりやんレトリィバァ

ビスケットィ

ヒッキー北風

はら きょうこ氏

高柴ひよつこ踊り

起き上がり小法師絵付け体験や親子で楽しめる絵本コーナー、東北の観光案内ブースも用意しています!

※企画内容や時間は変更となる可能性があります。

6月12日(月)には大阪国際会議場(グランキューブ大阪)にて被災地の現状を伝える講演や座談会、取組発表などを行います!

会場

大阪ステーションシティ(JR大阪駅)5F

「時空の広場」

[大阪市北区梅田3-1-3
大阪ステーションシティ]
JR大阪駅構内橋上駅屋上5階

お問合せ先

「復興フォーラムin大阪」事務局(株式会社JTBコーポレートセールス東京中央支店内)
担当: 高橋、太田、小林
E-mail: nt-info@bwt.jtb.jp
TEL: 03-6737-9292 (平日9:30~17:30) ※土曜、日曜、祝日は休業

復興フォーラム in 大阪

検索

WEBサイト: <http://www.newtohoku.org/>
Facebook: <https://www.facebook.com/newtohoku>
※事務局運営については、株式会社JTBコーポレートセールスが受託しております。

復興フォーラム in 大阪

6月12日(月) 10:00~16:20 大阪国際会議場12階 (グランキューブ大阪) **申込不要**

東日本大震災の発災から7年目を迎えた今、復興や防災の分野で進む民間の取組や、福島をはじめとした被災地の復興の現状や魅力を発信します。

特別会議場(12階)

13:00~16:20

13:10~13:50 「新しい東北と地域コミュニティの力」

各地域で生まれている防災・減災の新しい取組や、取組を通じた地域コミュニティの形成についてお話しします。

・室崎 益輝氏 (兵庫県立大学 減災復興政策研究科長)

室崎 益輝氏

13:55~15:10 「福島って、今どうなってるん? ~ふくしまのおいしさ・たのしさを知る~」

福島の現状、福島県産品のおいしさ・安全性や福島の魅力について、座談会でお伝えします。

・開沼 博氏 (立命館大学 准教授)
・加藤 絵美氏 (農業生産法人 株式会社カトウファーム)
・未知 やすえ氏 (吉本新喜劇)

開沼 博氏

加藤 絵美氏

未知 やすえ氏

15:20~16:20 「関西・東北での新しい取組」

関西から東北に進出した企業の取組や関西の学生による復興支援についてお話しします。

・岩本 泰典氏 (コドモエナジー株式会社 代表取締役)
・奥田 晴香氏 (きっかけ食堂 代表(京都女子大学3年)) 他

岩本 泰典氏

奥田 晴香氏

小会議室(12階)

10:00~14:40

10:00~12:15 「とにかく東北に行こう! ~みつけた、私の『たからもの』~」

ボランティア、インターン、企業からの出向等、様々な形で東北へ訪れた方々から、東北へ訪れたきっかけや、訪れてみて感じた東北の魅力、自分が感じたこと、得られたことなどをお伝えします。

・田村 太郎氏 (一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事)
・山村 光貴氏 (一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸)
・瀬戸 祐樹氏 (株式会社JTBコーポレートセールス)
・小林 峻氏 (一般社団法人まるオフィス 理事)
・戸塚 絵梨子氏 (株式会社パソナ東北創生 代表取締役社長)
・斉藤 雄一郎氏 (一般社団法人石巻圏観光推進機構 業務執行理事)
・児島 永作氏 (株式会社フェリシモ東北事務所 所長)

※ランチミーティング【12:20~12:45】 終了後、登壇者と参加者とのランチミーティングを予定しております。どなたでもご参加いただけますが、昼食が必要な方はご自身でお持込みください。

13:30~14:40 「動き出した関西×東北ビジネス連携」

関西の企業の皆様から、復興支援の取組を紹介します。

●東北への企業立地事例 奥地建産株式会社(大阪) ●ビジネスマッチング事例 株式会社イトーキ(大阪)×有限会社マルヒ製材(岩手)
●さまざまな連携事例 パナソニック株式会社(大阪)、積水化学工業株式会社(大阪)

・奥地 誠氏 (奥地建産株式会社 代表取締役会長)
・松本 健志氏 (パナソニック株式会社 東北復興推進室部長)
・柏崎 寛氏 (株式会社イトーキ 東日本復興プロジェクト室室長)
・名倉 太郎氏 (積水エンジニアリング株式会社 テクノソリューション部長)

※企画内容や時間は変更となる可能性があります。

6月11日(日)には大阪ステーションシティ(JR大阪駅)5F「時空の広場」にて東北の魅力を発信する「東北縁日2017」を開催します!

会場

大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

[大阪市北区中之島5丁目3-51]
・京阪電車中之島線「中之島(大阪国際会議場)駅」(2番出口)すぐ
・JR大阪環状線「福島駅」から徒歩約15分
・JR東西線「新福島駅」(3番出口)から徒歩約10分
・阪神本線「福島駅」(3番出口)から徒歩約10分
・大阪市営地下鉄「阿波座駅」(中央線1号出口・千日前線9号出口)から徒歩約15分

お問合せ先

「復興フォーラムin大阪」事務局 (株式会社JTBコーポレートセールス東京中央支店内)
担当: 高橋、太田、小林
E-mail: nt-info@bwt.jp
TEL: 03-6737-9292 (平日9:30~17:30) ※土曜、日曜、祝日は休業

復興フォーラム in 大阪

検索

WEBサイト: <http://www.newtohoku.org/>
Facebook: <https://www.facebook.com/newtohoku>
※事務局運営については、株式会社JTBコーポレートセールスが受託しております。